

くすやま美紀

高すぎる国民健康保険料 引き下げを！



区議会第一回定例会で、2019年度の国民健康保険料率の改定議案が提案され、私くすやま美紀は、値上げの中止を求め質疑に立ちました。

**均等割額17年連続値上げ
多人数・低所得世帯が負担増に**

保険料のうち、所得に関わらず世帯人数に応じて課せられる均等割額は1200円値上げされ、

■均等割額（介護分含む）の推移			
2002年度	2007年度	2012年度	2019年度
35,100円	47,100円	54,300円	67,800円
■国保料9年間の負担増（区の資料より）			
	年収300万円40歳 夫婦・子ども1人	年収400万円40歳 夫婦・子ども1人	
2010年度	173,172円	249,372円	
2019年度	366,993円	450,391円	
増額分	+193,781円	+201,019円	

6万7800円となり（上表）。均等割額の値上げは、単年度で見れば1200円ですが、2002年度以降、17年連続の引き上げです。さらに、均等割額は、多人数や低所得世帯ほど値上げ幅が大きく、負担増が深刻になります。質疑では、区もその問題点を認めました。

**法定外繰入は継続できる
追及に杉並区も認める**

保険料の負担緩和のために行われている一般会計からの法定外繰入について、区は、国や都の方針に従い、段階的縮小・廃止を進めています。

■国保料値上げに関する議案について各会派の賛否

会派	自民	公明	平和	共産	自無	未来	立憲	杉わ	美杉	無	維新	す自
国保料値上げに関する議案	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○

※平和（社民党、ネット議員が所属）未来（国民民主党議員が所属）自無（自民党議員が所属）

しかし、私は「国の公式見解として、繰入は各自治体の判断に委ねられている」ことを指摘。区も「法的な縛りはない」と答え、繰入の継続は可能であることを認めましたが、段階的縮小・廃止を進めるという姿勢に固執したことは問題です。

**他会派は値上げを容認
党区議団は値上げ中止を迫る**

質疑のなかで、来年度保険料を値上げせず据え置いた場合の経費は、約4億4千万円であることが明らかになりました。

2019年度、区は歳入全体で92億円程度の増収を見込んでおり、この増額分の内、4・8%を回すだけで、値上げを抑えることが出来ます。

私は、歳入増額分を活用し、保険料値上げの抑制を提案。国保制度は社会保障制度であり、これ以上の保険料の引き上げを中止し、引き下げの努力をすべきであることを求めました。

しかし、自民・公明等の他会派は値上げを容認。値上げ議案を賛成多数で可決したことは重大な問題です。

区議選での大きな争点とし、保険料引き下げに向けて全力を尽くす決意です。